

「はだしのゲン」の複製原画も特別展示

上越市主催の平和展

非核平和友好都市宣言をしている上越市では、今年も高田図書館内にある小川未明文学館で平和展が開催されています。8月15日までですので、ぜひお出かけください。

今年は戦時下の子どもたちの様子を伝えるものが多く展示されています。その中で私が注目したのは「はだしのゲン」の複製原画がずらりと展示されていることでした。お父さんのしっかりした教育精神、身重のお母さんを助けようとする子どもたちなど、作者の気持ちがピンピンと伝わってきました。

展示作品を見ているときに、聞いたことのある男性の音がすると思ったら、五智に住んでおられた米山謙三さん（故人）の声でした。ちょうど、館内のビデオ放送で、米山さんが戦争体験談を語っているところだったのです。懐かしかったです。



軍事に頼らない平和の枠組みづくり

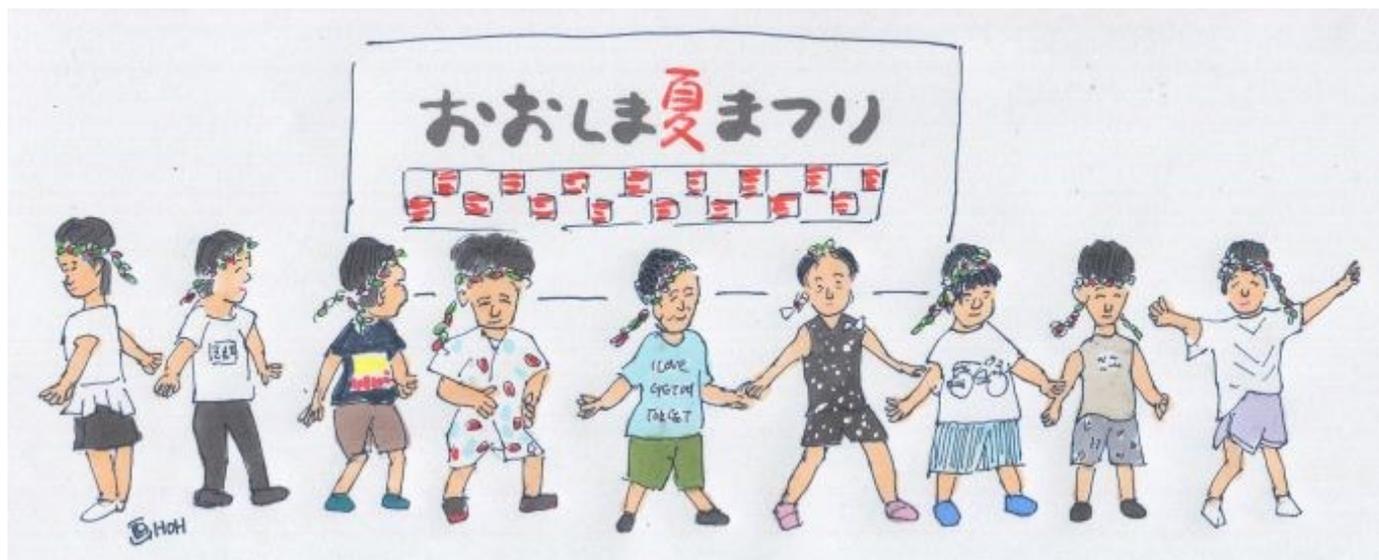


国際政治学者で青山学院大学名誉教授の羽場久美子さんの講演会が7月23日に開かれ、参加してきました。

テーマは、「軍事に頼らない平和の枠組みづくり——アジアの国連、沖縄を平和のハブに！」です。岸田政権が「ウクライナは明日の東アジア」「台湾有事は日本有事」とあおっているなかで、「沖縄はパワーとパワーの最前線にある。こうした地域を住民・市民の手に取り戻し、地域の特性を活かし、周りの地域と共存共栄していく平和のハブ（元締め）にしていく必要がある」との訴えは重みのある主張でした。



【バナナ】バショウ科の多年生植物。東南アジア原産で、アジアやラテンアメリカの熱帯域などで広く栽培されています。日本では沖縄や小笠原諸島で栽培されています。花期は5月～10月頃。花言葉は「風格」。写真は7月28日、吉川区大乘寺出身の小熊さんの農園（虫川）にて撮影しました。



7月29日は大島区の「おおしま夏まつり」でした。まつりで一番注目されるのはやはり子どもたちのイラストは大島保育園の園児9

人が踊る様子です。原寸大のカラーコピー、私の手元にあります。ご希望の方は下記の携帯番号までご連絡ください。

はしづめ法一の活動レポート

No.2121 2023.8.6

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七六八回

かき氷

思い出したら、笑ってしまいました。「これじゃ、いまも子どもの頃と変わらな」と思ったのです。

先日の三八市の日のことでした。猛烈に暑いなか、いつものように朝市の店をぐるりと回ってヒラ配布を終えたら、ぐったり……。近くの喫茶店で涼んでから帰ろうと思いました。

お店は結構すいていて、窓の外が見えるカウンターの席に座りました。私は紅茶を注文したのですが、注文して一分も経たないうちに、私の目の前で氷を砕く機械がガリガリという音を立て始めました。砕かれた氷は、私が昔見たものと同じで、氷のつぶつぶも残っています。これにストロベリーシロップをかけて、かき氷が出来上がりました。出来上がった赤いかき氷はカウンターの隣の席の人のところに出されました。いうまでもなく、お客さんはすぐに食べ始めました。

かき氷の氷づくりから出来上がりまでの様子をずっと見ていた私は、少し迷ったのですが、お店の人に言ってしまうました。「おれも、かき氷、お願いしようかな。抹茶、お願いします」と。正直言って、我慢できなくなっていたのです。他所の人が食べているのを見て、注文を変更したのは初めてかも知れません。

でも、変更して良かった。出されたかき氷は、全身を冷やしてくれる最高の食べ物だったのです。抹茶色そのままのかき氷は、スプーンで少しずつ口に運びました。口に入った氷の冷たさと甘さは口の中に広がり、食道から胃へと落下していききました。そして、冷たさは頭全体にも浸透していきます。早く食べすぎたのか、途中、頭を押さえたいくなるようなキンキン状態にもなりました。

この日、何が直接のきっかけだったのでしょうか、私が「けなりがる」という言葉を

発してから、カウンター席の隣で、かき氷を食べていた女性との会話が弾みました。

女性はお連れ合いと一緒に。私とほぼ同年代と思います。頸城区明治地区の出身とのことで、私の住んでいる所と近く、共通の方言が多いのかも知れません。「けなりがる」という言葉の意味は「うらやましく思う」とことだと説明してくださいました。そのうえで、話は上越市内の歌のグループのこと、のど自慢のことなど次々と広がりました。

この女性は私とは初対面でしたが、言葉をマシンガンのように発する人でした。こういう女性と出会ったのは私の人生で二人目です。とにかく、いったん口を開けると閉まることはありません。ご本人も「寝ているときと、歌っているとき以外は話している」と言っていて笑っておられました。

休むことなく言葉を発すると、本人はいいかも知れませんが、でも、そばで聞いている者は疲れます。そのことを遠回しに言ったところ、彼女のお連れ合いは、「テレビも聞こえないことがあるので、たまにカミナリを落とす」と言っておられました。その言葉を聞いてマシンガンさんは、「うるさいと言いながら、いつもついてくるんだよね」という言葉を放ち、笑いました。

どうあれ、この夫婦は仲良しなんだろう。まだ一回しか会っていませんが、とても良い感じだなと思いました。この女性は何よりも歌が大好きで、カラオケ通いだけでなく各地の音楽コンクールにも参加しておられるようです。私には「歌えるのは幸せ」だと言っておられましたから、そのうち、どこかで歌う姿を見かけるはず。

かき氷を食べたのは何年ぶりだったのでしょうか。思い出せないほど久しぶりに食べました。かき氷のお陰で十分涼むことができました。また、新しい出会いにもつながりました。

杉みき子さん作詞の「朝市」の歌に感動

7月29日、柿崎区の割烹橋立にて行われた「歌い語ろう会」で懐かしい歌を聴きました。杉みき子さん作詞、大塚進さん作曲の「朝市」という歌です。「コスモフィッシュ」という歌のグループのみなさんによる見事なハーモニーに感動しました。原作は「おくさん わらびに ぜんまい 買ってきないや」「おまんた もう 花見に行ってきたかね」など方言いっぱいのお歌です。朝市は上越市の宝だと改めて感じました。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月26日(水)	8月2日(水)
上越南消防署	0.057	0.053
上越北消防署	0.040	0.050
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.067	0.070
東頸消防署	0.047	0.040
名立分遣所	0.053	0.050
高士分遣所	0.050	0.047

火野正平の「こころ旅」の舞台へ



先日、テレビ放映された火野正平の「こころ旅」の舞台となった妙高市北条のお地蔵さんを見て、手を合わせてきました。あいにくの天気ですが、妙高山は見えませんでした。我が故郷の山、尾神岳が見えました。